

広報



まつざき

2005
(平成17年)

10

No. 497



かかしできたよ！

岩科幼稚園児が祖父母と交通安全かかしをつくりました。(9/9)

般会計決算報告

歳 入 (単位：千円)		
778,045	町 税	町民の皆さんに収めていただく町民税、固定資産税、軽自動車税等
31,452	分 担 金 及 び 負 担 金	養護老人ホームや保育園の入所者負担金等
93,392	使 用 料 及 び 手 数 料	公共施設の使用料、住民票などの交付手数料、ゴミ処理手数料等
2,970	財 産 収 入	町有地等の貸し付け及び各種基金の利子等
14,331	寄 付 金	
544,753	繰 入 金	他会計から一般会計へ入れる(特別会計や基金取崩しなど)
297,992	繰 越 金	前年度の歳入歳出決算で生じた剰余金
171,861	諸 収 入	預金利子や施設の売上等他の科目に該当しないすべての収入
54,606	地 方 譲 与 税	自動車重量税等いったん国税として徴収され、地方に譲与される
5,373	利 子 割 交 付 金	利子に対し課税された県税で、一部が交付される
959	配 当 割 交 付 金	個人に係る上場株式配当に対し課税された県税で一部が交付される
1,182	株式等譲渡所得割交付金	個人に係る株式譲渡益に対し課税された県税で一部が交付される
83,666	地 方 消 費 税 交 付 金	県で徴収した税の半分を市町村に配分される
30,571	自 動 車 取 得 税 交 付 金	道路整備事業のために県から交付される
18,776	地 方 特 例 交 付 金	恒久的な減税による税収減を補てんするために交付される
1,369,473	地 方 交 付 税	地方公共団体が一定水準の行政運営を行う為に必要な経費の財源として国から交付される
711	交通安全対策特別交付金	道路施設等の整備等のために交付される
150,019	国 庫 支 出 金	福祉・災害復旧等特定の事業を行うために国から交付される負担金及び補助金等
173,301	県 支 出 金	福祉・農道整備等特定の事業を行うために県から交付される負担金及び補助金等
519,300	町 債	財源確保や建設事業等を行うための長期借入金
4,342,733		

●歳入の状況

歳入決算額は、四十三億四千二百七十三万円で、収入率は予算現額に対し百・五％、調停額に対し九十七・四％で前年比七・一％の増となりました。

前年比増となった主なものは、地方譲与税、地方消費税交付金、繰入金等でした。反面、減となった主なものは、町税、地方交付税、県支出金等でした。

自主財源と依存財源のバランスでは、町税等の自主財源が四十四・六％と、前年対比五・九％の増となりました。これは、町税を始め、県からの財源も厳しくなっている中で、財源を確保するため、基金を取り崩して一般財源に充当したためです。

●歳出の状況

歳出決算額は、三十九億八千五百二十九万円で、執行率は九十二・三％、不用額は二億七百四十六万円、対前年比六・一％の増となりました。

国・県の厳しい財政政策により、町の経費節減、合理化

平成16年度

—

歳 出 (単位：千円)			
議員の報酬、費用弁償などの議会活動に必要な経費	議 会 費		63,480
全般的な管理事務、財政・財務管理などに必要な経費	総 務 費		912,915
住民の一定水準の生活と安定した社会生活を保障するために必要な経費	民 生 費		510,532
健康で衛生的な生活環境を保つための経費	衛 生 費		475,429
農林水産業の振興に必要な経費	農 林 水 産 費		246,051
商工業の振興・観光事業などに必要な経費	商 工 費		216,217
道路、河川、港湾など土木事業に必要な経費	土 木 費		272,072
消防署や消防団活動、防災対策に必要な経費	消 防 費		191,214
学校教育、社会教育などの教育関係に必要な経費	教 育 費		467,609
災害で被害を受けた施設の復旧のために必要な経費	災 害 復 旧 費		6,098
借り入れ町債の償還に充てる経費	公 債 費		623,679
普通財産取得費、貸付金等	諸 支 出 金		0
予算外の支出、予算超過の支出に充てるための経費	予 備 費		0
	合 計		3,985,296
	差 引 残		357,437

に努めました。総務費、民生費、土木費、教育費、公債費が前年比増となり、衛生費、農林水産業費、商工費、消防費、災害復旧費が前年比減となりました。

性質別に見ますと、社会資本の整備に要する投資的経費は、庁舎耐震補強工事、中瀬駐車場整備、県単農業農村整備事業等が増加しましたが、雲見漁港海岸保全施設補修事業の完了により、十五・四％減となりました。

扶助費は、児童手当等の増により六・一％の増となりました。

繰出金は、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、地域間交流施設が増加しましたが、老人保健特別会計が減少し、一・一％の増になりました。

積立金は、財政調整基金文庫施設整備基金、交通安全対策推進基金を積立しましたので、五十三・九％の増、公債費は、元金返済の増により二十・五％の増、物件費は六・三％の増でした。

交通安全ポスターコンクール

九月六日(火)、環境センター文化ホールで小中学生の夏休みの課題として募集した交通安全ポスターコンクールの審査会が行われました。

このコンクールは、交通安全ポスターを作成することで、家族ぐるみで交通安全について考えてもらおうと開催されているもので、今年は四百二十六点の応募がありました。

審査にあたったのは、町長をはじめ、警察署長、交通安全対策委員、各学校の美術教諭で、交通法規に合っているか、技術的かどうか等厳しく審査していました。各部門の入賞者は下記のとおりです。



小学校低学年(一・二年)の部

- 最優秀賞 渡辺あさひ(松小一年)
- 優秀賞 稲葉日向子(岩小二年)
- 伊東菜由(中小二年)
- 指出劍(岩小二年)
- 中嶋奈美(松小二年)
- 志津優月(三浦小一年)

小学校中学年(三・四年)の部

- 最優秀賞 高橋健介(松小三年)
- 優秀賞 稲葉千佐子(岩小四年)
- 稲木亜美(岩小三年)
- 稲葉唯(岩小四年)
- 土屋麻枝里(松小四年)
- 関万里奈(松小三年)

小学校高学年(五・六年)の部

- 最優秀賞 山本佳穂(岩小五年)
- 優秀賞 小嶋大地(松小六年)
- 佐藤成美(松小五年)
- 中嶋明日香(岩小五年)
- 土屋萌子(中小五年)
- 一瀬英理果(松小五年)

中学生の部

- 最優秀賞 関依理香(松中一年)
- 優秀賞 関優璃(松中一年)
- 齋藤美咲(松中一年)
- 関愛(松中一年)
- 佐藤優(松中一年)
- 佐藤まなみ(松中一年)

小学校低学年の部



最優秀
松小1年
渡辺あさひさん



表情が豊かで、笑顔で横断している様子がよく描かれている。

小学校中学年の部



最優秀
松小3年
高橋健介くん

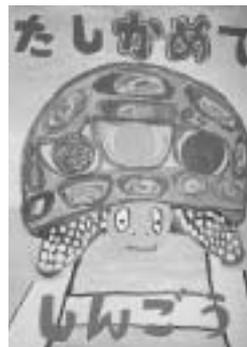


ヘルメットを大事にしている表情がよく出ている。

小学校高学年の部



最優秀
岩小5年
山本佳穂さん



きちんと確かめ横断歩道を渡る様子が伝わり、色使いもインパクトがある。

中学生の部



最優秀
松中1年
関依理香さん



交差点が丁寧に描かれ、キャッチコピーもタリングで分かりやすい。

南川水門建設説明会

九月八日(木) 国民宿舎伊豆まつぎ荘で、江奈南川付近の高潮津波対策の説明会が行われ、六十人の方が集まりました。

南川は、台風や荒天時に海が荒れるたびに道路が波で冠水し、予想される東海地震で津波が遡上した際には江奈地区でも相当な被害が予想されることから、江奈地区で水門建設を要望していました。

下田土木事務所では、今年度から地質調査を始め、三年間で建設する計画であり、地域の意見を聞きながらデザイン等を決めていきたいとのことでした。



介護保険施設等の利用料が変わります。

介護保険制度は、保険料と公費により支えられている制度です。

高齢者の方々にも負担いただいている保険料の急激な上昇を抑え、持続可能な制度としていくため、「負担の公平」という観点から、介護保険施設サービス利用料の見直しが行なわれ、十月一日から実施されます。

「居住費」や「食費」は給付の対象外となります。

今までは、在宅者が居住費（家賃、光熱水費）や食費を自己負担している一方で、施設入所者は居住費と食費の一部が保険給付されていました。今回の制度改正では在宅と施設での給付と負担の公平を図るため、施設入所者の居住費・食費が自己負担となります。

見直された費用

◎介護保険施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設

介護療養型医療施設）の居住費・食費。

◎ショートステイ（短期入所生活介護、短期入所療養介護）の滞在費・食費。

◎デイサービス（通所介護）、デイケア（通所リハビリテーション）の食費。

見直し内容

◎居住費（ショートステイの滞在費）：居室は、①多床室（相部屋）、②従来型個室、③ユニット型準個室、④ユニット型個室に区分されます。

①多床室（相部屋）は光熱水費相当、②従来型個室③ユニット型準個室④ユニット型個室は室料と光熱水費相当が自己負担となります（金額は各施設で設定されます）。

◎食費：食材料費と調理費相当が自己負担となります（金額は各施設で設定されます）。

所得に応じた定額の負担限度額が設定されます。

・市町村民税世帯非課税の方や生活保護を受けている方は、施設利用・ショートステイの居住費（滞在費）・食費の負担が軽減されます。

・施設サービス（ショートステイを含む）の利用者で、利用者負担段階が「第1段階」「第2段階」「第3段階」の方は、軽減を受けるための申請「介護保険負担限度額認定申請」が必要となります。

高額介護サービス費の見直し

月々の介護サービスの1割負担の合計額については、その超えた額が高額介護サービス費としてサービス利用者に払い戻されます。利用者負担第2段階の方は、負担上限額が引き下げられ、負担が軽減されます。

【問合せ】

健康福祉課介護保険係

四二一三九六六

負担限度額と基準費用額（月額）

高額介護サービス費（月額）

区分	対象者	多床室	従来型個室		ユニット型準個室	ユニット型個室	食費	見直し後	
			特養等	老健・療養等				見直し前	見直し後
利用者負担第1段階	市町村民税世帯非課税の老齢福祉年金受給者	0円	320円	490円	490円	820円	300円	15,000円	15,000円
	生活保護受給者								
利用者負担第2段階	市町村民税世帯非課税で合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円以下の方	320円	420円	490円	490円	820円	390円	24,600円 (世帯全員が住民税非課税)	15,000円
利用者負担第3段階	市町村民税世帯非課税で利用者負担第2段階該当者以外の方（課税年金収入が80万円超266万円未満の方など）	320円	820円	1,310円	1,310円	1,640円	650円		
基準費用額	上記以外の方	320円	1,150円	1,640円	1,640円	1,970円	1,380円	37,200円	37,200円

いつまでも
お元気で！

敬老の日

各地区で敬老会が
開催されました



居合の技を披露した船津今夫さん(79)



人力車の送迎サービス



100才のお祝：金指みゑさん（宮内）

九月十五日から十九日にかけて、町内各地区で敬老会が行われました。
各地区公民館等では、それぞれ工夫を凝らした催しが行われ、楽しいひとときを過ごしました。
今年から対象者が七十五歳以上に引き上げになりましたが、対象者は千五百六十八人、うち、喜寿（七十七歳）百四十八人、米寿（八十八歳）三十九人、白寿（九十九歳）二人でした。（八月一日現在）



小学生が歌と踊りを披露（那賀公民館）



とても楽しそうです（松尾公民館）

松崎文芸

—短歌—

傾きし稲穂ついでむ群れ雀百舌の高音にどつと飛びたつ

佐藤 犬夫

九十四才何を思ふや柿の短歌天井のみ仰ぐと聞けば淋しも

船津 きく

ベトナム機に吾ら乗りたりスチュワードスは日本人一人のみなり

坂倉 のぶ

散水のしぶきの中に生れし虹を幼にみせたくて大声によぶ

笹本 藤子

台風の子報は早くもあらはれて磯もと洗ふ白き波がしら

高橋 浪子

夢もちてしたたかに遡上する稚魚が病みをれどわれも夢を持ちあふる

山本 しづ子

ねがはくば他人の空似であれかと思へどゆらぐその人の姿

平馬 文枝

まちのびろろ

中高生も参加 総合防災訓練

九月一日、県下一斉に総合防災訓練が実施され、町内でも各地区自主防を中心に、地域の実情に即した訓練が行なわれました。



今年も盛況 伊豆半島 太鼓フェスティバル

九月十日（土）、松崎海岸特設ステージで、第六回伊豆半島太鼓フェスティバルが開催されました。



今年も過酷な展開 伊豆 アドベンチャーレース

九月十六日から十八日にかけて、松崎海岸をスタート・ゴールに「伊豆アドベンチャーレース二〇〇五」が開催されました。



今年の防災訓練には中高生も地元の訓練に参加し、初期消火や救急法の講習を受けるなど、災害時の即戦力としての活躍が期待されます。

今年には県内外から五団体の和太鼓チームが参加し、海岸に集まった約二千人の観客を前に、華麗なばちさばきと勇壮な和太鼓の響きを披露しました。

今年のコースは比較的難易度の低い設定ということでしたが、十七チーム参加して完走チーム無しと、過酷な設定は健在でした。

夏に咲く花

全国的に花ブームが広がりを見せていて、どんな雑誌でも花の名所を紹介しています。近隣の町も花に目覚めて花壇、花苑に注目し整備しつつあります。

以前、夏の花が無い、目立つきれいな花が無いものかと記したところ、友人の一人から酔芙蓉はどうだろうかとの勧めがあり、苗木も友人が作ってくれたことになり、苗木の成長を待つて、試験的に鮎川土手に植えてみました。

今ちょうど一年目で、どんなに生長して、どんなきれいな花を咲かせているかと様子を見に行つたところ、想像以上にピンク（酔）の蕾がつき、花が咲いていました。これなら鮎川河岸を酔芙蓉の名所にできるのではないかと思います。

我が町の酔芙蓉の名所は、八木山の永禅寺、県道沿いに群落があり、今一番の見頃です。

朝に白い花を楽しみ、夕べにピンクに酔った華麗な花が楽しめます。皆さんにもぜひ一度ご覧いただきたいと思つた次第です。

松崎町長

深澤 進

町長室からこんにちは ④6



町の人口と世帯

(平成17年9月1日現在)

()内は前月比

総人口	8,586人	(-24人)
男	4,086人	(-13人)
女	4,500人	(-11人)
世帯数	3,146戸	(-5戸)
転入	6人	転出 24人
出生	2人	死亡 8人

広報まつやま

二〇〇五年十月一日発行
 通刊 第四九七号

〒410-0166 静岡県賀茂郡松崎町宮内三〇一ノ一
 ☎(055)421-3963 FAX(055)421-3183

発行 静岡県松崎町 編集 総務課
 印刷 (株)文寿堂印刷所

町の交通事故

平成17年9月15日現在

()内は前年対比

人身事故	31件	(-5)
物損事故	86件	(-10)
死者	0人	(±0)
傷者	46人	(+1)

○体に抵抗力をつける
 ○筋肉の衰えを防ぎ、体力を強化する
 ○骨の老化を防ぐ
 ○ストレスを解消する
 この秋にウォーキング教室を開催する予定です。興味のある方は、ご参加ください。日程が決まり次第お知らせします。

(8月分)
戸籍だより

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
江奈4	土屋 廉	85	時 和
門野	江村キクエ	86	菊 治
石部	高橋茂雄	84	興志雄
大沢	渡邊孝行	63	敏 子
中区	吉川喜砂	78	義 弘
池代	鈴木わさ	69	明 久
江奈4	藤井房雄	75	すみ江
船田	船津よしへ	82	隆 一

おめでとうございます(出生)

地区	氏名	性別	保護者
金沢	光 <small>ヒカリ</small>	女	佐藤祐馬
江奈1	海 <small>カイ</small> 輝 <small>キ</small>	男	永林芳久

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

保健師だより

ウォーキングによる健康効果

食生活や休養などとともに、運動も生活習慣病の予防に大きくかかわっています。日頃から体を動かす習慣を身につけましょう。

ウォーキングは、酸素を体内にたくさん取り込むことのできる有酸素運動です。筋肉内に酸素を取り込むことで脂肪を効率良く分解し、肥満を解消します。また、血液の循環が良くなることで血管の弾力も高まり、心肺機能が向上するなど、さまざまな健康効果があります。

学校ひろば

(52)

三浦小学校

☎四五〇〇〇一

夏休み自由研究・体験発表

九月十三日に、恒例の「夏休み自由研究・体験発表会」が行われました。参観する保護者を前に、八名の代表児童の堂々とした姿が見られました。

この発表会は、平成十四年度から「長い夏休みを利用して、何かに取り組もう」のローガンのもと、休み明けの全校児童の発表会として実施しています。

今年には次の二点を目標に行いました。

- 一、自分の学びを、解かりやすく伝えようとする。
- 二、体験・研究の内容やまとめ方などの良さに気づくような聞き方をし、感想を伝え合う。

各学年の体験・研究内容は、お父さんが獲つて来たアオリイカの観察(二年)、スズムシの観察(二年)、二十日大根の観察(三年)、岩地海岸のゴミ調べ(四年)、稲の病気(五年)、昔のお金。漢字の研究(六年)



なかでも四年生の発表は、ゴミ調べのグラフからわかるゴミの数と種類の多さにみんな驚かされました。また、「観光客が来ると、岩地の海岸は汚くなる。」という児童の言葉に、なおびつくりするともに、深刻に受け止められたようでした。